

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 11 日

事務事業名		消防団適正規模等検討事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030102001059
						単独/補助	単独		
								所属課	020801
政策体系	総合計画の施策名	0301	消防・防災対策の充実						防災課
	政策名	03	安全安心な暮らしのまちづくり					課長名	
	施策名	01	消防・防災対策の充実					グループ	防災
	手段名	02	②消防防災体制の強化					担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	09	01	02	01	00	非常備消防事業		
法令根拠						期間限定複数年 (令和 2 年度～ 令和 4 年度)			
桜川市消防団適正規模等検討委員会設置要綱						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市消防団適正規模等検討委員会を設置し、将来の地域において消防団の果たす役割、機能に関する検討を早期に行い、消防団員の数や装備の改善等、消防団の体制についての定量的な目標を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> 桜川市消防団適正規模等検討委員会の開催 桜川市消防団本部会議の開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市消防団適正規模等検討委員会の開催 桜川市消防団本部会議の開催 	検討委員会の開催数		3.00	0.00	3.00	0.00	0.00	
	消防団本部会議の開催数		5.00	8.00	5.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
消防団	分団数		36.00	36.00	26.00	0.00	0.00	
	消防団員条例定数		580.00	580.00	500.00	0.00	0.00	
	消防ポンプ車両数		36.00	36.00	26.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
消防団の消防力の維持を図るため、地域の実状にあった消防団の体制を見直す	削減分団数		0.00	0.00	10.00	0.00	0.00	
	削減消防団員定数		0.00	0.00	80.00	0.00	0.00	
	削減消防ポンプ車両数		0.00	0.00	10.00	0.00	0.00	

(3) 投入量(事業費)の推移			02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	146	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0		
		使用料・手数料	千円	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	196		
		事業費計(A)	千円	146	0	196		
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人			

03年度事業費実績(千円)				04年度事業費予算(千円)			
				07 報償費	189		
				10 需用費	7		
合 計				0			196

事務事業名	消防団適正規模等検討事業	事務事業No.	30102001059	所属課	防災課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
桜川市消防団は、平成17年の町村合併後も旧町村時の分団数を維持して消防団活動を行っているが、各分団における新規入団者の獲得が困難となっており、団員数の減少や団員の平均年齢の上昇が年々進んでいる。また、被雇用者団員の割合も増加し、平日の昼間の災害に対応可能な団員も減少してきているため、令和2年度より検討委員会を設置した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
消防団員から活動の負担が増加しているため、活動をしやすい環境づくりや、加重的負担がかからないよう必要な訓練を効率的に行って欲しいとの意見があった。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 消防団の組織再編を行うことで、消防力の維持を図り、非常備消防体制の強化に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 防災消防体制の強化は市の役割であるため、市が消防団員相互の連携強化のための事業を行うことは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 消防団の組織再編を検討することで、地域の実状にあった消防団員の数や装備の改善が可能となり、消防力の維持向上が見込める。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 消防力が低下し、防災消防体制の弱体化に繋がる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はないため、統廃合や連携はできない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は検討委員会に伴う報償費であるので、その回数が減らない限り、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 防災消防体制の見直しは全ての市民が受益者となるため、特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、開催ができなかった。また、分団統合の内容を再度見直すことになったため、改めて組織再編成案を検討する必要がある。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 分団の統合を行う必要がある。そのためには、分団員の理解とモチベーションの維持や関係地区の理解が必然である。問題点を洗い出し、活動しやすい環境整備や装備の充実を図る必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>